

市長の

# やまがた自慢

## 「駅伝 山形チーム、優勝おめでとう！」



去る4月27日から29日にかけて行われた、第70回山形県縦断駅伝競走大会において、山形チームが見事総合優勝を果たしました。昨年は初日と3日目が一役だったにもかかわらず、2日目でタイムを落とし無念の涙をのみましたが、今回は、3日間全て一位の「完全優勝」です。かつて山形チームが総合優勝したのは、1963（昭和38）年の第9回大会で、63年ぶりということですから、本当に久しぶりの快挙となります。

山形チームはこの一年間、これまでの雪辱を果たすべく厳しい練習に耐え、チームの実力を高めてきました。3日間の記録を見ると、全選手が区間5位以上のタイムを出すなど、チーム全員がそれぞれの力を発揮し、総合力で勝利したことが分かります。タイムも16時間6分51秒と、なんと大会記録を約16分も更新しました。多くの山形市民の皆さまが沿道から声援を送っていただいたことも選手たちの大きな力となりました。

日々練習を重ね、見事に優勝を勝ち取った選手たちの努力と、総監督、監督、マネージャーをはじめ指導・支援にあたった皆さま、そして、懸命な応援により選手に大きなパワーを与えてくださった山形市民の皆さまに心より感謝申し上げます。



▲総合優勝を果たした駅伝 山形チーム

山形市長 佐藤孝弘

### 未来をひらく

# 人と企業

若手社員が生き生きと活躍する様子を通じて、山形市の企業の魅力を紹介します。

問 働きやすさ追求室（☎内線411）

今回は、山形市出身で入社2年目の高橋里菜<sup>たかはしりな</sup>さんに、入社のきっかけや、仕事のやりがいなどについてお話を伺いました。

## ーきっかけは地元と伝統文化

小学生の頃に高瀬地区で紅花染めを体験したことや、大学で日本文化・日本美術を学んだことをきっかけに、着物に携わる仕事に就きたいと考えるようになりました。また、県外で学生生活を送る中で山形の魅力を再認識し、伝統文化を通じて新たな挑戦を続けている弊社で働きたいと考えました。

## ー人の喜びに寄り添う仕事

現在は二十歳<sup>はたち</sup>の祝賀式など人生の節目に向けた着物のコーディネートを担当しています。ご本人やご家族の方から「とても良い祝賀式になりました」と喜びの声をいただいた時にやりがいを感じます。今後は、七五三や結婚式などでも、お客さまの大切な思い出となる特別な一日をお届けできる存在になりたいです。

インタビューの詳細はこちら▼



うきの会社の

## ココが良イトコロ

若手社員がのびのびと働ける、温かな雰囲気職場です。着物の知識も先輩が丁寧に指導してくれるため、着実に身に付けることができます。また、年に一度、全社員が着物を着て集まる社内行事があり、着物に関する情報はもちろん、さまざまな情報交換ができる貴重で楽しい機会となっています。

## 株式会社とみひろ

1578年創業の老舗企業。着物文化を大切にしながら、写真館・結婚式場・カフェなど多彩な事業を展開し、“晴れの日”を彩り続ける山形発の企業です。

株式会社とみひろホームページ▶

